

























(6) 平成 27 年度の事業年度評価に係る項目別評価結果表総括

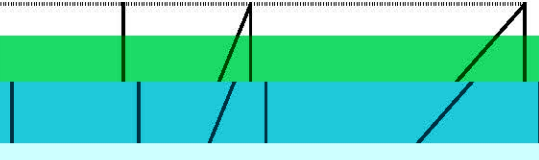


大項目	Ⅲ 安定的な経営確保・財務内容の改善
小項目	2 志願者確保

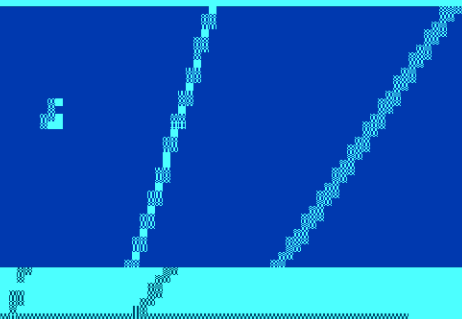
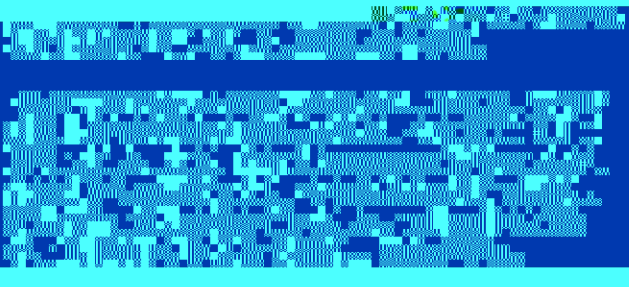
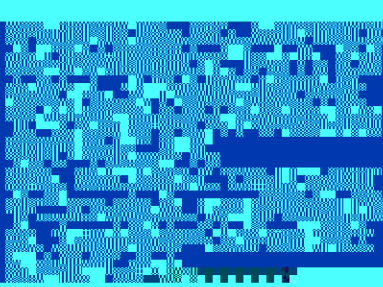
(1) 安定的な大学運営には、なまぐさの志願者を確保することが必要であり、大学が一丸となって取り組むべき事項である。そのため、志願者拡大の具体的な戦略を中期計画等において具体的に構築し、それに基づき、受験生、保護者や学校、予備校への志願者確保に向けた取組と主導とをとりて実施する。その取組のうち、同校訪問、校長対談説明会及び同校上・保護者向け説明会については、**2025年度前に増し**実施し、より幅広く全国区エリアから志願者を確保する。

事業内容	実施状況	達成率	達成率	達成率
同校訪問	同校訪問	同校訪問	同校訪問	同校訪問
校長対談説明会	校長対談説明会	校長対談説明会	校長対談説明会	校長対談説明会
同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会

事業内容	実施状況	達成率	達成率	達成率
同校訪問	同校訪問	同校訪問	同校訪問	同校訪問
校長対談説明会	校長対談説明会	校長対談説明会	校長対談説明会	校長対談説明会
同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会	同校上・保護者向け説明会

<p>県内高校対策としては、鳥取県教育委員会と連携した県内高校への働きかけと、定期的な高校訪問や教員説明会、校長との意見交</p>	<p>(No.107) ○教員による出前授業、在学生による母校訪問等において、本学教育の特色を引き続きアピールします。(</p>	<p>・出前授業を27回開催し、695名の受講があり、本学教育の特色をアピールしました。  ・在学生による母校訪問は、直接高校教員に学生の様子を伝えることができるため効果的である。本学の春</p>	
---	--	--	---

WU



【数値指標の年次的目標等】

・志願者

(No.110)  
 ○西部サテライトキャンパスにおいて大学説明会を引き続き開催し、県西部地区での本学への理解を深めます。

・西部サテライトキャンパスでは高校教員向け説明会を6月に実施し、6校7名の教員が参加。開催日が高校総体の代休日と重なったため、参加者が少なかつたため、次年度以降は高校の行事を確認したうえで、開催日を決めます。

4	/	/
---	---	---

	(No.115) ○ 志願者の利便性を図るため、インターネット出願の導入を検討します。	・インターネット出願の導入検討として、既に導入している広島大学、徳島大学、岡山理科大学を訪問し、情報収集を行いました。本学の導入については、継続検討します。	3	
[入試のあり方、各学部定員のあり方の検討] 各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、本学に強い関心と高い志望度のある学生又は基礎学力の高い学生を、多様な入試により選抜します。 また、志願状況や入学者の成績を追跡調査すること、さらに、地元の高校や専門高校等の要望や意見を参考にしながら、学部ごとの定員、入試科目等について検討を行います。	②入試のあり方、各学部定員のあり方の検討 再掲(No.001) ○アドミッション・ポリシーに基づき、入学者の選抜にあたっては、平成26年度入試と同様に一般入試と特別入試(AO、推薦)を実施します。推薦入試については、専門高校・地域枠を設定します。また、私費外国人留学生入試、社会人特別入試を引き続き実施します。	再掲(No.001) ○入学者受入方針(アドミッションポリシー)を定め学生募集要項等に記載するとともにホームページで広く周知しています。以下に内容を要約します。 <アドミッションポリシー> ○環境学部では持続可能な社会づくりのための具体的な提案・実践ができる人材の育成を目指すという教育理念を示し、環境問題の解決に寄与したいと考えている人物を求めています。 入学に当たり、高等学校等における基礎学力、特に語学、数学、理科の基礎を習得していることが大切としています。 経営学部では、持続可能な社会		
		を持ち、経営のさまざまな課題の解決や業務の運営について具体的に企画・実行できる人材の育成という教育理念を示し、経営に関する専門的知識やスキルと思考力・行動力を身につけ、企業・行政・団体などのマネジメントを担おうとする意欲ある人物を求めるとしています。 入学に当たり、高等学校等で国語、英語、数学等の基礎学力を十分身につける必要があります。	5	
		を引き続き検討します。		

	<p>(No.116)  ○志願状況、入学者の成績の追跡調査、地元の高次等の要望や意見を参考にしながら、入試区分別の定員や入試方法、入試科目等について引き続き検討を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで十分に志願者を確保できたことから、平成28年度の入試区分別の定員や入試方法、入試科目の変更ありません。</li> <li>・引き続き入学者の追跡調査、高校訪問による情報収集、高校教員説明会や県内高校校長との意見交換会での意見を参考に、募集区分、試験科目等について検討を行います。</li> </ul>	5	/	/
--	---	--	---	---	---